

科目名	データ分析法			担当教員	吉田 琢哉	
単位	1単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED4SPS523
期待される学修成果	教科教育 学校と社会					
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	心理学統計法Ⅰ・Ⅱで学んだ知識・技能を踏まえ、各自で集めたデータを適切に分析し、結果をまとめ、考察するまでの心理学的な研究プロセスについて習熟することを目標とする。					
授業の概要	各自で集めたデータの処理の仕方について、JASPを使った演習を通して習得する。受講者は分析結果について図表を含めて学術論文に即した形式でまとめ、課題の提出や発表を通して修正を加えていくことが望まれる。					

授業計画	
第1回	オリエンテーション・心理学研究の流れ
第2回	先行研究のレビュー・論文のまとめ方
第3回	研究目的の立て方・論述の組み立て
第4回	測定内容の決定
第5回	研究構想をまとめる
第6回	研究構想の発表Ⅰ～5人目までの発表
第7回	研究構想の発表Ⅱ～10人目までの発表
第8回	研究構想の発表Ⅲ～15人目までの発表
第9回	研究構想の発表Ⅳ～20人目までの発表
第10回	記述統計のまとめ
第11回	仮説の検証
第12回	分析結果の考察
第13回	抄録の作成
第14回	抄録の振り返り
第15回	発表資料の作成

事前学修	0.5時間	次回の内容について「心理学統計法Ⅰ・Ⅱ」「心理学研究法」の資料を読み直して復習しておく。
事後学修	0.5時間	授業で受けた指摘を踏まえ、各自のまとめ資料を修正する。
フィードバックの方法	課題提出や発表の後に評価をフィードバックする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	40%	演習の中で課されるレポートへの取り組みで評価する。
上記以外の試験・平常点評価	60%	演習の中で課されるレポート以外の課題への取り組みで評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書は使用しない。	なし	なし	なし	なし
参考資料	必要に応じて適宜紹介する。			